

下水道機構の『新技術情報』 第128号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

ご存知のように週末は、東京でも記録的な大雪に見舞われました。南の島出身の私は、ワクワク。庭で巨大雪だるまやミニかまくらを作ったり、カーテン全開で雪見酒などなど、めったにない大雪を満喫しました♪

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第128号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・2/5 (水) に2回目の調査検討支援委員会を開催しました
- ・今週2/14(金)に新技術研究発表会【東京会場】を開催！

■機構の動き

- ・今週は、2/12(水)に新技術設計手法等共同研究委員会を、2/13(木)に技術サロン、2/14(金)に新技術研究発表会@東京を開催します

■Tea Break

- ・地元愛(ペンネーム 研究二部の錦水さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、研究第二部 井川主任研究員より海外出張のお土産をお届けします

■国からの情報

- ・2/7 付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●2/5 (水) に2回目の調査検討支援委員会を開催しました

今回は、地方自治体との共同研究である、大規模地震の被害想定によるBCP策定に関する1件、津波対策に関する1件、マンホールや大規模貯留管内の数値流体力学を用いた水理解析に関する2件の合計4件について、研究の背景と目的、現在の進捗、今後のスケジュール、課題等の概要説明を行い、委員の方々から、調査研究を進める上での技術的な助言を頂きました。今後は、今回の助言内容等を踏まえ

て研究をまとめていきます。

●今週 2/14(金)に新技術研究発表会【東京会場】を開催！

先週 2/7(金)は、新技術研究発表会@大阪会場を開催しました。多数の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。今週 2/14(金)は、東京会場にて開催します！席にまだ余裕がありますので、皆様のお申込みをお待ちしております。

※参加費は無料（講演資料を取りまとめたテキストが必要な場合は、テキスト代 1,000円）

参加をご希望される方は、当機構ホームページから Web 申し込みをお願いします。

プログラム→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-program>

参加申込 → <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成 26 年 2 月 12 日(水) 13:00~15:00

行 事：平成 25 年度 第 3 回新技術設計手法等共同研究委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究（継続）

●平成 26 年 2 月 13 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 323 回 技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：川崎市上下水道局下水道部計画課長 松川 一貴 氏

テーマ：川崎市における今後の下水道事業の方向性

※お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●平成 26 年 2 月 14 日(金)【東京会場】13:00~16:45

行 事：第 19 回新技術研究発表会

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

●平成 26 年 2 月 14 日(金) 13:30~15:30

行 事：平成 25 年度第 3 回 水処理技術共同研究委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究

○平成 26 年 2 月 17 日(月)14:00~17:00

行 事：平成 25 年度第 3 回 管路技術共同研究委員会
場 所：機構 8 階 特別会議室
内 容：修繕工法による管きょ長寿命化に関する共同研究等の審議

○平成 26 年 2 月 17 日(月) 14:00~17:00

行 事：平成 25 年度第 2 回 健全な水・物質循環形成に向けた連携会議
＜ビストロ下水道 Ash チーム＞
場 所：機構 8 階 中会議室
内 容：健全な水・物質循環形成に向けての議論

○平成 26 年 2 月 21 日(金)14:00~17:00

行 事：平成 25 年度第 3 回 汚泥処理技術共同研究委員会
場 所：機構 8 階 特別会議室
内 容：下水処理場における小型バイナリー発電による排熱利用に関する共同研究等の審議

。○○。
Tea Break (機構職員の感じるまま)
。○○。

●地元愛(ペンネーム 研究二部の錦水さんからの投稿です)

この度、春の甲子園に母校が出場することになりました。

私は野球部出身ではないものの、それはもちろん、嬉しく、誇らしく、ワクワクします。ですが、何でこんなにワクワクするのか？と大雪の影響で博多から新幹線で東京まで帰る羽目になった帰路で考えてみました。

それはおそらく、在学時の先生達の洗脳、思惑どおり？という気がします。母校は、甲子園予選だけなぜか、応援練習して全校生徒で観戦。いつの間にか、生徒には一体感が高められた記憶はありましたが、いつの間にかに、母校愛も植え付けられていたようです。所謂、洗脳でしょうか？

さて、先日、機構も駅伝に参加しました。タイムは散々な結果でしたが、参加応援することで、職員、組織の一体感、機構愛はさらに増したのではないのでしょうか？

そんなことを思っていると、先ほど、地元の最寄駅を通り過ぎました。せっかく通り道なのに寄らない、私の地元愛、親の洗脳はまだまだ足りないようです。

。○○。
まる子の結まーる (皆様との交流の場です)
。○○。

●今回は、研究第二部 井川主任研究員より海外出張のお土産をお届けします

★詳しくはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-2-10>

*/**/*
皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2014. 2. 7 付国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



先日、報道発表があったようですが、日本科学未来館の企画展の話題です。開催は
少し先、7月～10月になりますが、企画展「トイレ？ 行っトイレ！～ボクらのうんち
と地球のみらい」が予定されています。「自分のうんちの匂いや形など身近な話題から、
排泄物と地球環境の問題に至るまでさまざまな情報を見つめながら、環境に負荷
をかけないトイレのシステムとは何か、そして私たち人間にとって幸せなトイレとは
どのようなものかを探っていく」企画展だそうです。「うんちに扮して巨大トイレの
すべり台を下りながら下水処理の旅」もできるとのこと。展示の企画には GKP（下水道
広報プラットフォーム）も参画しています。お楽しみに。

<http://www.miraikan.jst.go.jp/spexhibition/toilet/>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の公募について

【下水道企画課・流域管理官】

○第5回「下水道若手職員によるネットワーク」（下水道場）の開催について

【下水道企画課】

○「100mm/h 安心プラン」の登録～新たに5件の計画を登録～【流域管理官】

○「防災・減災に向けた研究成果報告会～東日本大震災から3年～」の開催について

【国土技術政策総合研究所・土木研究所】

●第21回下水道循環のみちセミナー「循環のみち、JSの最近の取組み」のご案内

【日本下水道施設業協会】

=====

○下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の公募について

(2月19日まで)【下水道企画課・流域管理官】

国土交通省では、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）を実施することとしました。

この度、以下の革新的技術について、実規模レベルのプラントを設置して実証を行うため、実証事業の提案を公募することとしましたので、お知らせします。

- ①下水汚泥から水素を創出する創エネ技術
- ②既存施設を活用した省エネ型水処理技術（標準活性汚泥法代替技術）
- ③既存施設を活用した省エネ型水処理技術（高度処理代替技術）
- ④ICTによる既存施設を活用した戦略的水処理管理技術
- ⑤既存施設を活用したICTによる都市浸水対策機能向上技術
(応募要件等)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000230.html

(応募様式)

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000323.html

○第5回「下水道若手職員によるネットワーク」(下水道場)の開催について
【下水道企画課】

国土交通省では、下水道若手職員が他組織の若手職員と交流する場として「下水道若手職員によるネットワーク」(下水道場)を開催しています。

第5回となる今回の下水道場は、1月31日(金)、東京都下水道局 下水道技術実習センターにて開催しました。下水道技術実習センターにて「人孔モデル」、「管路内水中歩行モデル」、「運転シミュレーション装置」等の実習を行い、全国自治体の若手職員が通常業務の中では経験が困難な作業等を体験したほか、下水道政策研究委員会の中で議論が進められている新下水道ビジョン(仮称)の内容について議論をしました。概要は下記のページで公表しています。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000322.html

○「100mm/h 安心プラン」の登録～新たに5件の計画を登録～【流域管理官】

国土交通省水管理・国土保全局は、近年、短時間の局地的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)等により、浸水被害が多発していることから、この対策として、局地的な大雨に対しても住民が安心して暮らせるよう、河川と下水道のハード整備や、住民の避難行動を支援するためのソフト対策により、住宅地や市街地の浸水被害等の軽減を図る、「100mm/h 安心プラン※」登録制度を創設し、この度申請のあった5件の計画について、登録を行いました。

登録された計画の概要については、下記の報道発表資料をご覧ください。

※100mm/h 安心プランとは・・・河川管理者及び下水道管理者による河川と下水道の整備に加え、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めた計画。

(報道発表資料)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000737.html

(実施する取組を定めた計画)

<http://www.mlit.go.jp/river/kasen/main/100mm/>

○「防災・減災に向けた研究成果報告会～東日本大震災から3年～」の開催について
【国土技術政策総合研究所・土木研究所】

国土技術政策総合研究所、土木研究所、建築研究所及び港湾空港技術研究所では、東日本大震災の発生直後から職員を被災地へ派遣し、人命救助や復旧活動等に不可欠な道路や港湾等の供用性評価、応急復旧の為の技術支援に取り組んできました。

また、大震災の教訓を踏まえ、従来の想定を凌ぐ自然災害への新たな対策を含めた技術基準の改定等の研究を行っています。

東日本大震災発生から3年間を総括し、各機関・各分野における発災直後の緊急対応からその後の施策、復旧・復興事業への反映、さらに今後の南海トラフ地震、首都直下地震等に対する防災・減災対策の取り組み状況を紹介します。

- ・日時：3月19日(水) 13:00～18:10
- ・場所：中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂(東京都千代田区霞が関2-1-2)
- ・その他：入場無料、下記HPからお申込みください。(定員500名申込み先着順)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/saigai/h23tohoku/index.html>

(記者発表資料)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20140207.pdf>

●第21回下水道循環のみちセミナー「循環のみち、JSの最近の取組み」のご案内
【日本下水道施設業協会】

下水道における循環のみちでは、汚泥の資源・エネルギー利用が大きな部分を占めます。一方で、原発事故以降、汚泥に含まれる放射能への対策が難しく、資源利用が止まっているところも東日本では多くあります。

今回のセミナーでは、「循環のみち、JSの最近の取組み」と題して、日本下水道事業団(JS)野村理事と山本資源技術開発課長をお招きしてお話しを伺い、意見交換を行います。

- ・テーマと講師：
 - I. 「下水汚泥循環利用への取組みと今後の見通し」
日本下水道事業団 資源技術開発課課長 山本博英 様
 - II. 「放射性物質を含む下水汚泥と対策」
日本下水道事業団 理事 野村充伸様

- ・日時：3月3日(月) 15:00～18:00
- ・場所：日本下水道施設業協会 大会議室

(東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2階)

お申し込みは、日本下水道施設業協会のHP新着情報をご覧ください。

ご参加お待ち申し上げます。

<http://www.siset.or.jp/>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしています

が、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「水環境共働ビジョン」に関する講演会の開催について【愛知県豊田市】

(2月8日開催)

http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ca00/ca07/1223968_7208.html

→1月24日掲載

■ストックを活用した都市浸水対策機能向上のための新たな考え方（中間とりまとめ）の意見募集について【流域管理官】

(2月10日まで)

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000314.html

→1月17日掲載

■より一層の汚濁負荷削減に貢献する下水処理技術の募集について【流域管理官】

(2月14日まで)

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000315.html

→1月10日掲載

■下水道新技術研究発表会の開催について【下水道機構】

(2月14日(東京)開催)

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

→1月10日掲載

■「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」説明会の開催について【全国上下水道コンサルタント協会】

(2月17日(東京)、2月21日(大阪)開催)

http://www.suikon.or.jp/seika/file/seminar_20140217.pdf

→1月10日掲載

■都道府県構想策定マニュアル説明会の開催について【下水道事業課】

(2月13日開催)

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000277.html

→平成25年12月27日掲載

=====

【参考情報】

◆津波浸水時間の予測図、県が公表 色分けで表示<1/31 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/miyazaki/news/20140130-0YT8T01531.htm>

◆浸水被害軽減へクレーク活用 佐賀市が計画案<2/2 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/saga/news/20140201-0YT8T01144.htm>

◆下水直結 災害時トイレ<2/2 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tokyotama/news/20140202-0YT8T00010.htm>

◆鹿沼の小藪川改修プラン、国交省の浸水軽減計画に関東初登録<2/5 下野新聞>

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/politics/news/20140205/1495342>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→<http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140116/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
